

# 林業ぐんま

## ぐんま緑の県民税を活用した事業

(松くい虫被害地の再生事業 前橋市内)



作業実施前 (松くい虫被害の森林)



作業実施後 (被害木を伐採除去し苗木を植栽)

### 目次

林政情報	1
平成三十年度	
群馬県森林・林業関係施策の概要	
山火事予防にご協力ください	
平成三十年度春の緑化関連行事予定	4
普及コーナー	5
第18回群馬県きのこ料理コンクール開催	
第21回群馬県きのこ品評会開催	
森の談話室	6
「私にできることは？」	
「みどり市地域おこし協力隊 宮下なおさん」	
「林業・木工で地域おこし！」	
「みどり市地域おこし協力隊 馬場生さん」	
各地のたより	7
(洪川)「きのこ生産者と消費者との交流会」を開催	
(西部)ドローン操作実務研修会の開催	
(藤岡)CLTを活用した上野村「山の駅」	
(富岡)造林地におけるシカ捕獲を実施	
(吾妻)木質バイオマス供給施設を整備	
(利根沼田)「21世紀の森」で雪まつりを開催	
(桐生)クマ剥皮被害材の	
利活用に向けた取組	11
地域を担う人	
阿部 裕也さん 鈴木 幸宏さん	11
トビックス	12
ぐんま林業学校(林業基礎研修)	
平成29年度群馬県	
農林水産業関係機関成果発表会	
平成29年度林業功労者表彰式の開催	13
林業試験場から	14
天敵を利用したきのこ害虫防除について	
「森林・林業を支え、みどり豊かな	
郷土群馬づくりに貢献する」	15

春

# 林政情報

## 平成三十年度 群馬県 森林・林業関係施策の概要

### ◎環境森林部の予算の概要

県政運営の羅針盤である第十五次県総合計画「はばたけ群馬プランⅡ」及び「群馬県版総合戦略」に位置づけた環境、森林・林業に係る施策を着実に推進し、「魅力あふれる群馬」の実現に向けて全力で取り組みます。

本県の森林が本格的な収穫期を迎えていることから、「森林・林業基本計画」に基づき、豊かな森林資源を循環利用し、素材生産から加工・流通・木材利用に至るまでの一連の取組を加速させ「林業の自立と成長産業化」に取り組みるとともに、「環境基本計画」に基づき、自然環境面の問題のみならず、ゴミ問題や地球温暖化問題など幅広い分野に対応し、県民生活の水準を維持し増進させつつ、環境への負荷が低減された、質が高く持続可能な環境県づくりに継続して取り組みます。

### 平成30年度 環境森林部 施策体系及び主要事業

#### 基本目標Ⅰ 地域を支え、経済・社会活動を支える人づくり

(政策)	(施策)	(主要事業)	(当初予算額)	(担当課)
政策1	群馬の未来を担う子ども・若者の育成	郷土への誇りと愛着の育成	87,843千円	自然環境課
政策2	群馬の飛躍と地域の安心を支える職業人材の育成	産業人材の育成・確保	67,430千円 3,472千円	林業振興課 林業振興課

#### 基本目標Ⅱ 誰もが安全で安心できる暮らしづくり

政策6	安全な暮らし実現	危機管理体制の整備	環境放射能水準調査 放射性物質汚染対処特別措置法遵守状況監視	25,901千円 600千円	環境保全課 廃棄物・リサイクル課
		災害に強い県土づくり	間伐等森林整備 治山事業	1,615,126千円 5,919,295千円	林政課、森林保全課、 緑化推進課 森林保全課
		身近な暮らしの安全確保	群馬のきのこ安全確保対策 きのこ原木林再生技術の開発	14,034千円 1,338千円	林業振興課 林業試験場
政策8	優れた群馬の環境の保全・継承	自然環境・生活環境の保全	大気保全推進	82,406千円	環境保全課
			自然環境対策	17,980千円	自然環境課
			自然公園等管理	53,098千円	自然環境課
			自然公園等整備	114,182千円	自然環境課
			指定管理鳥獣捕獲等事業	53,230千円	自然環境課
			ぐんま緑の県民基金事業(森林整備等)	862,221千円	林政課、林業試験場
			森林病害虫等防除対策(県民基金事業)	41,459千円	林政課
			森林ボランティア支援	11,533千円	緑化推進課
		低炭素・循環型社会づくり	ぐんまエコスタイル推進	1,700千円	環境エネルギー課
			循環型社会づくり推進対策(県民基金事業)	1,740千円	廃棄物・リサイクル課
			森林環境教育指導者養成	5,128千円	緑化推進課
			森林環境教育推進	6,352千円	緑化推進課
			緑化センター運営・森林学習センター運営	25,256千円	緑化推進課
			木材加工試験	5,126千円	林業試験場
		再生可能エネルギーの活用促進	住宅用太陽光発電設備等導入資金	275,638千円	環境エネルギー課

#### 基本目標Ⅲ 恵まれた立地条件を活かした産業活力の向上・社会基盤づくり

政策1	群馬の産業の強みを活かす戦略	魅力あふれる観光県ぐんまの推進	尾瀬学校(再掲)	87,843千円	自然環境課
			自然公園等管理(再掲)	53,098千円	自然環境課
			自然公園等整備(再掲)	114,182千円	自然環境課
			森林公園整備	65,139千円	緑化推進課
		「林業県ぐんま」の実現	群馬県森林・林業基本計画推進事業	309千円	林政課
			利用間伐	753,394千円	林政課、緑化推進課
			路網整備	1,963,563千円	林政課
			林業・木材産業振興	150,823千円	林業振興課
			ぐんまの木で家づくり支援	300,000千円	林業振興課
			きのこ等振興対策	233,545千円	林業振興課
			きのこ試験	13,178千円	林業試験場

◎「林業県ぐんまの推進」について

戦後、植えられた森林が収穫期を迎え、その充実した資源をしつかりと活用することで、木材生産から加工・流通、利用まで一体的に取り込み、「林業県ぐんま」の実現を加速していきます。

「林業県ぐんま」の実現に向けた主な事業としては、①森林資源を循環利用し、木材の安定供給を図るため、これまでの利用間伐に加えて、皆伐再造林を推進する。②木材の流通コストを低減するため、中間土場の整備や、協定取引に基づく直送販売の取組に支援する。③県産材の利用を促すため、ぐんまの木で家づくり支援や新たな需要に向けた県産2×4（ツーバイフォー）材の販路拡大などを実施します。

このほか、効率的な素材生産体制を構築するための林道や作業道の整備、高性能林業機械の整備、森林・林業を支える人材の育成・定着、安全・安心な「きのこ」生産体制の構築と振興などにも取り組めます。

県内の森林・林業・木材産業の各分野を一体的に発展させ、「林業県ぐんま」を実現し、活力ある地域の創生につなげていきます。

◎「皆伐再造林の推進」について

県内の民有人工林の齢級構成は不均衡であり、このまま推移すると、10年後には81%が50年を超える森林となります。偏った齢級構成は、持続的な森林経営や将来にわたる木材の安定供給に、支障を来すほか、二酸化炭素吸収能力低下などが危惧されることから、皆伐再造林を一体的に推進します。

このために、現在進めている集約化施策をより一層推進し、林地を団地化することにより、皆伐再造林一貫作業に支援し、木材生産コストの低減と収益性の向上を図り、森林資源を循環利用できる体制を構築します。

なお、一定規模以上の皆伐再造林を推進するため、補助公共造林の補助率を見直し、再造林及び下刈り等初期保育の支援強化を行います。

環境森林部(森林関係) 平成30年度当初予算の状況

1 所属別予算額 (単位:千円)

課名	H30当初 予算額	H29当初 予算額	増減	前年比
林政課	5,244,230	5,252,281	△ 8,051	99.8%
林業試験場	226,283	238,407	△ 12,124	94.9%
林業振興課	1,381,331	1,389,667	△ 8,336	99.4%
森林保全課	6,079,475	6,078,246	1,229	100.0%
緑化推進課	287,435	295,831	△ 8,396	97.2%
計	13,218,754	13,254,432	△ 35,678	99.7%

2 公共事業 (単位:千円)

区分	H30当初 予算額	H29当初 予算額	増減	前年比
補助公共	6,320,000	6,314,000	6,000	100.1%
林道	799,963	970,029	△ 170,066	82.5%
作業道	589,600	574,280	15,320	102.7%
治山	3,790,295	3,790,295	0	100.0%
造林	1,020,142	859,396	160,746	118.7%
災害復旧	120,000	120,000	0	100.0%
単独公共	2,804,000	2,804,000	0	100.0%
林道	304,000	294,000	10,000	103.4%
林業作業道	270,000	270,000	0	100.0%
治山	2,089,000	2,100,000	△ 11,000	99.5%
造林	90,000	89,000	1,000	101.1%
水源林等整備推進	51,000	51,000	0	100.0%

森林関係の県予算は、総額132億1875万円、対前年比は約100%となりました。なお、公共事業費は、補助公共事業が対前年比100%、単独公共事業が対前年比100%、総額では対前年比約100%となっています。

◎平成三十年森林関係予算

# 林政情報

**山火事予防にご協力ください！  
小さな火 大きな森を破壊する！**

3月1日～5月31日は県山火事予防運動  
実施期間です

県内の山火事は、例年3月に入ると発生が増える傾向があり、5月頃にかけて多発しています。

このことの背景としては、冬～初夏にかけてのこの時季は、

・ 空気の乾燥や強風など、火災が発生しやすい（燃え広がりやすい）気象条件となることが多いこと

・ 林地やその周辺には、堆積した枯れ葉や枯れた下草など、燃えやすいものが多いこと  
・ 行楽や、野外での作業に適したシーズンとなり、山林への人の出入りや、野外で火を使う機会が増えること  
などが考えられます。

そのため県では、3月1日～5月31日を県山火事予防運動実施期間とし、予防対策に重点的に取り組んでいます。

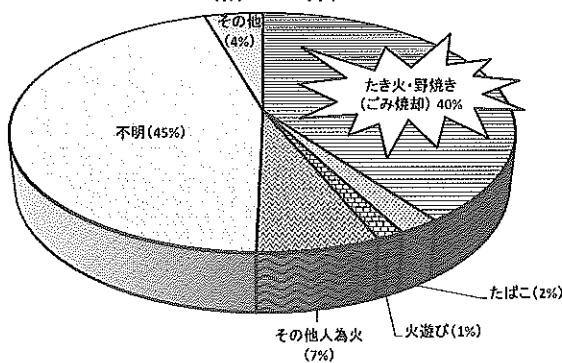
平成29年の山火事発生件数は15件、被害を受けた森林面積は約2ヘクタールとなっており、昨年に続き、近年では比較的少ない状況でした。（林政課調べ）

しかしながら、山火事は消火が難しい場合も多いため、ひとたび発生すると、非常に大きな被害をもたらしかねず、油断は禁物です。焼けてしまった森林を再生し、災害を防止するなどの公益的機能を回復させるまでには、多くの費用と長い時間が必要になります。

## 山火事を防ぐには

山火事の起火原因は、人為的なものがほとんどです。特に、家の庭や田畑の周りでのたき火などから山林に燃え広がる事例などが、依然として多くなっています。

平成25～29年 林野火災発生原因(件数割合)  
(計135件)



ちょっとした不注意による「小さな火」から起こる火災を減らし、県民共通の財産であ

る森林を守るため、特に次のようなこと気をつけましょう。

- ・ 枯れ草等の近くなど、周囲に燃え広がる恐れのある場所でたき火等をしない
- ・ 乾燥注意報の発令時や風の強い時は火の取扱に特に注意し、たき火等をしない
- ・ 火気の使用中はその場を離れず、使用後は確実に消火する
- ・ たばこの吸い殻、使用後の花火や炭、焼却灰などは、必ず消火を確認し、適切に処分する
- ・ 火遊びはしない、させない

## もしも山火事を発見したら：

燃え広がった火事を無理に消そうとするのは大変危険です。すみやかに119番通報し、安全な場所に避難しましょう。

群馬県林政課 森林整備係  
電話 027-2226-3221 (直通)



# 平成30年度 春の緑化関連行事予定

市町村名	実施日	行事の名称(☆は苗木配布会を予定)	実施場所
前橋市	4月7~22日	赤城南面千本桜まつり	赤城南面千本桜
	4月15日	☆さくらまつり	大胡ぐりーんふらわー牧場
	4月5~6日	第25回全国さくらサミットin前橋	みやぎ千本桜の森ヤマダグリーンホーム
	4月29日	敷島公園まつり	敷島公園
	4月29日	☆「緑の募金」推進中央キャンペーン	敷島公園(敷島公園まつり会場内)
	5月上旬	☆須賀の園藤まつり	須賀の園
	5月3日	☆「みどりの日」記念 苗木配布会	前橋市中央商店街(中央広場)
	5月3~5日	敷島浄水場開放	敷島浄水場
	5月上旬	☆苗木配布会(赤城神社参道松並木と千本桜の森ウォーキング)	みやぎ千本桜の森
	5月中旬	☆苗木配布会(粕川町つつじが峰トレッキング)	おおさる山乃家
	5月20日	☆苗木配布会(参道松並木クリーン作戦)	赤城神社参道松並木
	5月19日~6月10日	バラ園まつり	敷島公園ばら園
	5月下旬	敷島オープンガーデンフェスティバル(個人の庭解放)	敷島公園周辺
	伊勢崎市	5月3~4日	☆グリーンフェスタ2018
渋川市	4月14日	しぶかわ桜まつり	渋川市総合公園
	4月21日	森林観察会	憩の森森林学習センター
	4月29日	☆小野上温泉まつり	小野上温泉センター
	5月1日	☆苗木配布会(子持山開き)	子持山若人の道駐車場
	5月12日	森林観察会	憩の森森林学習センター
	5月20日	☆苗木配布会(渋川駅前通り歩行者天国)	渋川駅前通り歩行者天国会場
吉岡町	4月14日~5月13日	花と緑のぐんまづくりin吉岡	吉岡町役場周辺・道の駅しおか温泉
榛東村	4月28日	林業試験場樹木園春の一般公開	県林業試験場
玉村町	5月27日	☆苗木配布会(玉村町クリーンセンター見学会)	玉村町クリーンセンター
高崎市	4月15日又は22日予定	☆花水木まつり	群馬銀行新町支店駐車場
	4月29日	☆たかさきスプリングフェスティバル緑花祭	群馬音楽センター前広場
	4月29日(予定)	☆みさと芝桜まつり	みさと芝桜公園
	5月13日	出張緑化講座「家庭で楽しみたい芝生の管理と雑草の防除」	高崎市中央公民館
	5月26~27日	誕生記念樹木贈呈	高崎市役所南側ピロティ
安中市	通年	オープンテラス(仮称)	安中市役所
	5月12日	☆安中市緑化用苗木配布会	安中市文化センター
	5月26日	第72回群馬県植樹祭	安中市みのりが丘パノラマパーク
藤岡市	4月29日(予定)	☆苗木配布会	ららん藤岡
神流町	5月4日	☆苗木配布会(鯉のぼりフェスティバル)	鯉のぼりフェスティバル会場内
上野村	5月4日	☆苗木配布会(十石市)	ヴィラせせらぎ付近会場内
富岡市	5月13日	☆春の苗木配布会	道の駅みょうぎ
	5月20日	☆春の苗木配布会	富岡小学校
下仁田町	4月29日	☆さくらの里観光PRイベント(春の苗木配布会)	さくらの里駐車場
南牧村	5月上旬(予定)	☆山菜まつり(春の苗木配布会)	道の駅「オアシスなんもく」
甘楽町	4月8日	☆さくら祭り武者行列(春の苗木配布会)	甘楽町総合公園
	4月中旬(予定)	☆記念苗木植樹	甘楽町紅葉山公園
中之条町	4月16日	☆苗木配布会(中之条町「安市」)	「つむじ」付近
長野原町	4月28日~5月6日	☆苗木配布会(創業祭)	道の駅ハツ場ふるさと館
嬬恋村	4月29日(予定)	☆苗木配布会(嬬恋村「安市」)	三原商店街
東吾妻町	4月14日(予定)	☆苗木配布会(すいせん祭り)	岩井親水公園
沼田市	3月28日~4月19日	沼田公園桜まつり	沼田公園
	4月15日	☆苗木配布会	沼田公園グラウンド
昭和村	4月未定	結婚記念植樹	結婚の森
	4月29日	☆「昭和の日」記念イベント苗木配布会	道の駅「あぐりーむ昭和」
桐生市	4月7日~22日	☆第54回吾妻公園チューリップまつり	桐生市吾妻公園
	4月21日~22日	☆第80回市民植木市	桐生市役所構内駐車場
	4月下旬	☆第13回さくら草まつり	桐生市新里農産物等直売所
太田市	5月6日	☆太田市春季緑花祭	八王子山公園(太田市北部運動公園)
館林市	5月3~4日	花と緑のフェスティバル2018	つつじが丘公園大芝生広場
みどり市	4月中旬	☆浅原体験村創業祭	浅原体験村
	5月中旬	☆春野菜共進会	JIAにたみどり笠懸野菜集出荷所
邑楽町	4月14日	☆緑化苗木無料配布会	邑楽町役場
	5月4日	☆県緑化センター「みどりの集い」	県緑化センター
	5月13日	日曜緑化講座「初夏に行うマツのミドリ摘みのテクニック」	県緑化センター
	5月31日	緑化講座「ツツジの栽培管理と庭木の病害虫防除」	県緑化センター

\*26市町村 59回

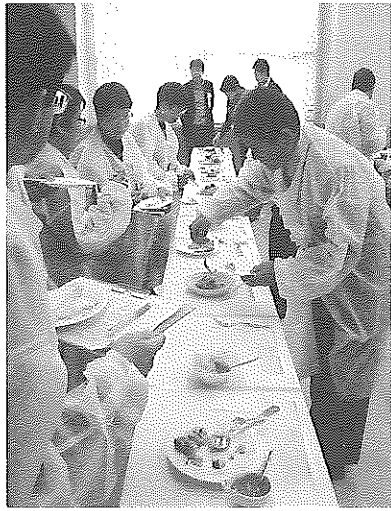


# 普及コーナー

## 第十八回群馬県きのこ料理コンクールの開催

今年度は六月十九日から九月二十九日にかけて募集し、県内各地の中学生及び高校生から四百点の応募がありました。応募件数は近年増加傾向で、本コンクールの認知が進んでいるものと考えています。

十一月二十五日の本審査（調理審査）では、昨年度に引き続き、学校法人山崎学園群馬調理師専門学校の特設の会場において、書類審査を通過した十二名が参加しました。なお、今年度は初めて中学生が本審査に進出し、高校生とともに自慢の腕を振りました。



きのこ料理審査

審査の結果、最優秀賞である群馬県知事賞には、群馬県立利根実業高等学校 藤ノ木彩夏（ふじのきあやな）さんの「秋のクレープあんかけ」が選出されました。藤ノ木さんは、群馬県代表として三月十三日に東京都で開催

された全国大会に出場しました。

また、本コンクールの入選作品については県ホームページで公表をしているほか、クックパッド「ぐんまちゃんキッチン」においても順次公開するなど、県産きのこの需要拡大を図る予定です。

なお、来年度も六月から募集を開始する予定です。是非応募してください。



群馬県知事賞

第18回群馬県きのこ料理コンクール  
入選作品集URL

<http://www.pref.gunma.jp/06/e3600213.html>

## 第二十一回群馬県きのこ品評会の開催

当品評会は、栽培技術や品質の一層の向上、きのこの消費拡大・PRを目的として、一月二十三日（審査）、二十四日（表彰式及び出品物の即売等）に県庁の一階県民ホールで開催されました。

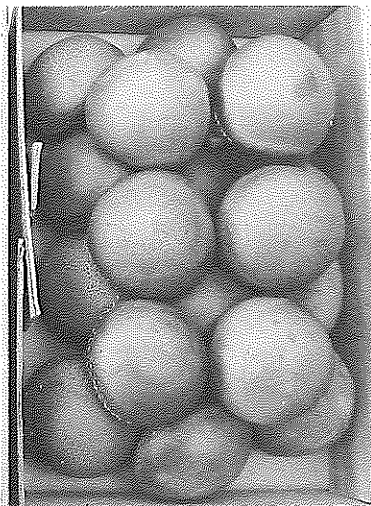
出品されたきのこは、生しいたけ、まいたけ、なめこ、えのきたけ等で出品数は228点でした。きのこ生産者の皆様には、高品質

なきのこを多数出品していただき、ありがとうございました。

出品物の即売はおかげさまで短時間で完売となりました。また、今回は県庁地下食堂の御協力により、きのこフェアが開催され、きのこがたくさん入った食事メニューを多くの人に食べていただき、大変好評でした。来年度も開催予定しておりますので、御来場をお待ちしています。

なお、各部門の最高賞は次の方々です。おめでとうございます。

部門	賞区分	受賞者
生しいたけ	知事賞	森田 富雄
まいたけ	農林水産大臣賞	(渋川市)
	知事賞	(株)キノコ輪大
	知事賞	(高崎市)
なめこ	知事賞	高山 康雄
	知事賞	(沼田市)
えのきたけ	知事賞	市場 裕二
	知事賞	(嬬恋村)



農林水産大臣賞

# 森の談話室

私にできることは？

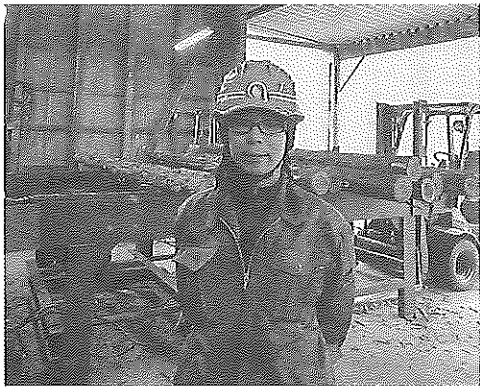
みどり市地域おこし協力隊

宮下なおさん

昨年4月からみどり市地域おこし協力隊として東町を拠点に活動しています。

活動内容としては、木工振興と林業振興ということで、現在はわたらせ森林組合の工場と、わたらせ工場の2か所で活動しています。わたらせ森林組合の工場では、地域材を使ったラミナ材や、角材などの製材をしています。わたらせ工房では、木育を主体とした木工キットの製作や、木工体験などのお手伝いをしています。

私自身、今一番やりたいことは、木を伐る事です。休日を利用して地元の方と一緒に山へ入り間伐と材出しを行っています。山の仕事は体力的にもすごく大変だと思います。でも、静かな山にチェンソーの音を鳴り響かせ



轟音と共に木が倒れ、何もなかつたかのように静寂が戻る。この瞬間がすごく私は好きでたまりません。山仕事の合間に食べるお昼ご飯、普段と何も変わらないご飯なのに何故だかすごくおいしく感じます。夕方にはヘトヘトになっているはずなのに、この疲れが何故か心地よい。私はそんな感覚の虜になっているのだと思います。ある意味森林セラピーとも言えるのでしょうか？

木は一つとして同じ物がなく、重心を見極めて狙い通りに倒すのは難しいです。受け口を作り、追いを入れて伐倒しますが、受けの方向が狂っているとあからさまに結果が出てしまいます。経験の浅い私にはすごく難しく日々勉強です。

林業へは、まだスタート地点に立ったばかりですが、もつと経験を積んで林業の担い手の一人になれたらと思います。

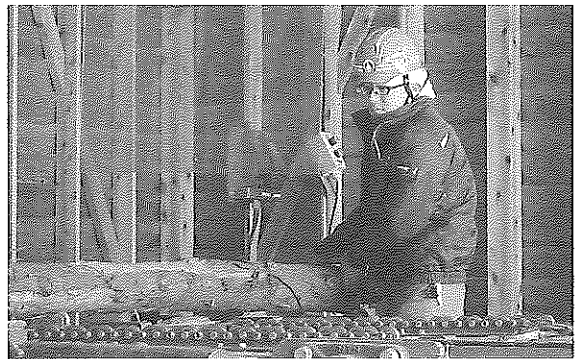
## 林業・木工で地域おこし！

みどり市地域おこし協力隊

馬場 生さん

昨年4月から宮下隊員と共にみどり市地域おこし協力隊に着任しました。

理由としては、登山やものづくりが好きで、そんな自分の趣味嗜好と林業・木工という活動内容が合っており、山での生活にチャレンジする良い機会と考えて応募しました。



活動内容はほぼ宮下隊員と同様ですが、他にも活動拠点である東支所において、レーザー加工機を用いた木工品の作成なども行っています。また、公務外ではありますが、知り合いの林家さんの山仕事をお手伝いさせていただきます。

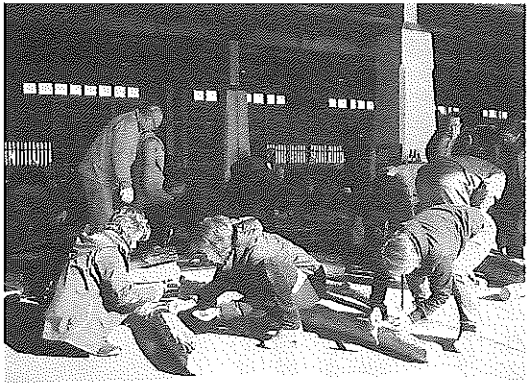
着任から1年が経過しますが、協力隊の活動や林業家の皆さんとの交流を深めるにつれ、実感するのは林業業界の厳しさです。正直言って想像以上でした。但し、それはあくまで木材価格の低下を発端とする『マネー資本』としての厳しさであり、みどり豊かな山で働く・生きる『里山資本』としての魅力は十二分にあると思っています。そのようななか、専業ではない副業的林業のアプローチを充実させることが業界活性化に繋がると考えています。残りの活動期間でその試行錯誤をし、新たに山で生きたい人々の受け皿づくりを目標のひとつとして進めていきたいです。

# の便り

## 「きのこ生産者と消費者との交流会」を開催

渋川森林事務所管内では、前橋市農業協同組合と中毛地区きのこ協議会との共催による「きのこ生産者と消費者との交流会」が、平成三十年一月十三日（土）に、J A前橋市野菜集配センター他において、一般の消費者の方十九名としいたけ生産者六名、農協、森林事務所職員四名の総参加者二十九名により開催されました。

当日は、赤城山からの赤城おろしが吹く中、午前十時より、主催者等のあいさつに始まり、しいたけ生産者による「原木しいたけ栽培のやり方」が説明され、原木しいたけ栽培への理解を消費者の方へ深めてもらいました。



次に、原木への植菌体験として、生産者等の指導により、一人5本づつの原木に電動ドリルによる穴開けとハンマーによるしいた

け菌の駒打ちを体験してもらいました。

続いて、きのこ生産施設見学として、前橋市大胡町で、しいたけ原木栽培を営んでいる小澤工氏の自宅にある施設を見学し、植菌機による駒打ちとしいたけハウス内の発生状況を見学しながら、しいたけ原木の管理方法などを聞き、原木栽培の方法を学んでいました。参加者からは、「こんなに沢山のしいたけ原木を見たことが無く、原木の移動は、手作業で行われ、生産者の苦勞が解る。」と原木栽培への苦勞を誇う言葉もありました。

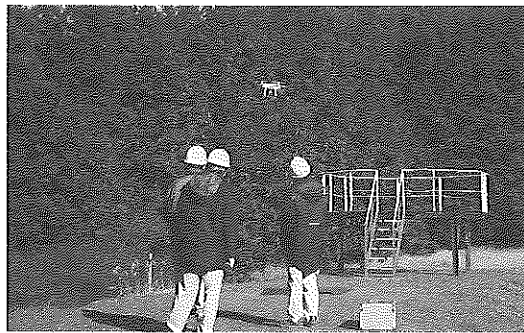
また、お昼には、きのこ料理の試食及び意見交換会が行われ、様々なきのこ料理を味わいながら、原木栽培と菌床栽培との生産施設の違いや原木しいたけと菌床しいたけの味覚の違いなどが話し合われ、「原木生産者のしいたけを購入したい。」などと生産者と消費者の方との交流が図られました。



（渋川森林事務所通信員）

## ドローン操作実務研修会の開催について

西部環境森林事務所では、ドローンの操作技術のスキルアップを目的に、事務所普及指導員を対象とした「ドローン操作実務研修会」を平成29年12月20日（水）、21日（木）の2日間、栃木県佐野市にあるドローン専用飛行場（とちぎUAVフィールド）にて実施しました。



操作訓練

ドローンの操作は、空中で停止して静止画や動画を撮影することには比較的容易にできるものの、飛行しながらの撮影では、対象物がイメージどおり写っていないことが多く、実践経験に基づくノウハウが必要であると感じており、当研修を開催しました。

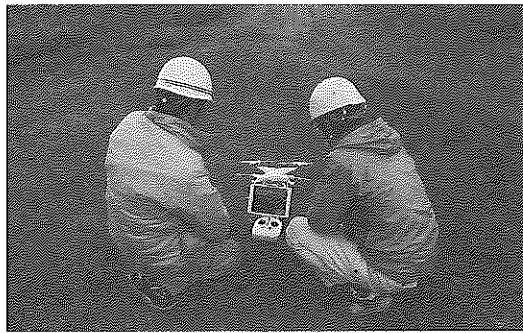
研修会では、ドローンの機能特性、操作や法規制に係る講義等の座学と森林・林業現場における現況調査を想定した実践的な操作訓



# 各地

練を実施しました。

操作訓練では、基本操作、自立飛行、低電圧時での操作、衝突防止センサーの活用、自動操縦アプリを利用したデモ飛行及び撮影などを講師とマンツーマンで行い、2日間で一人当たり約6時間の飛行操作を経験しました。その中で、撮影前の状況確認、コース設定、撮影速度等についてノウハウを学びました。



基本操作の説明

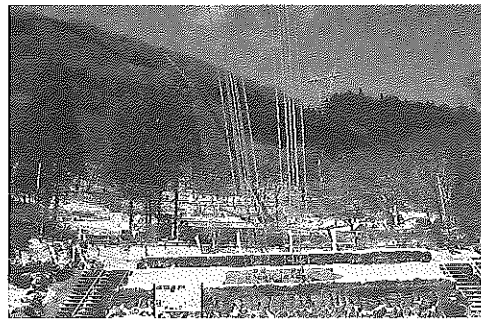
樹高測定、樹冠疎密度の確認、市町村の依頼を受けた災害現場の状況撮影など、ドローンを活用するようになりました。今後実践経験を重ね、更なる技術力向上に努めていければと考えています。

(西部環境森林事務所通信員)

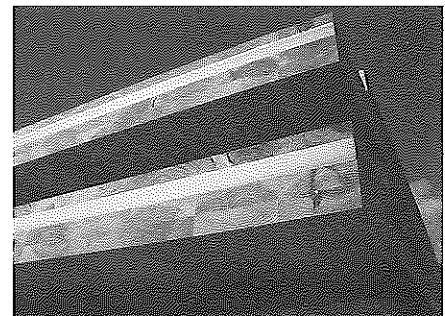
## CLTを活用した 上野村「山の駅」

上野村では、二十九年度地方創生拠点整備交付金を活用し、川和自然公園内に「山の駅」を新築しています。

この「山の駅」は、まほーばの森やスカイブリッジ、不二洞とあわせた観光スポットの中心に位置し、観光案内所のほか、不二洞のチケット販売所、売店・飲食エリア、自然体験交流スペースが入る予定で、部材の一部には上野村産の杉材で作ったCLTパネル8枚が使われました。およそ二百㎡の原木を、上野村森林組合が、厚さ3cm、幅12cm、長さ2mの板材・六千七百枚に加工し、昨年十一月に岡山県の工場へ送りました。



「山の駅」新築現場



上野村産原木で作ったCLT

に所定の位置に設置されました。

限られた期間内での加工、大型パネルの輸送など、苦労もあつたのですが、地元の木がカ

タチとなって、多くの方の目に触れる場所に使っていただけたことは、材料の調達・加工に関わった森林組合のみなさんにも、大変励みになったことと思います。

このCLTパネルは、1階の飲食・売店エリアの天井部分に使われています。今春オープンしますので、上野村へお出かけの際には、CLTパネルの見学もかねて、ぜひ「山の駅」へお立ち寄りください。



クレーンを使って設置

(藤岡森林事務所通信員)

# の便り

## 造林地におけるシカ捕獲を実施

県内の人工林が成熟し本格的な利用期を迎え、森林資源の循環利用と健全な更新を図るため主伐（皆伐）・再造林を進めていく機運が高まっています。一方でシカによる造林木の被害は深刻で、森林所有者の再造林への意欲を減退させる大きな要因となっています。シカによる林業被害対策には防護ネットの設置や忌避剤散布等の防除に加えて、生息数を減少させるための捕獲を強化する必要がありますことから、県では造林地でシカの誘引捕獲を造林補助事業により支援しています。



センサーカメラに写ったシカの群れ

森林管理署下仁田森林事務所の協力により捕

た捕獲に平成27年度から取り組んでいまして。これまでに職員5名が捕獲に必要な狩猟免許を取得し、併せて林業試験場や国有林内でシカ捕獲を実施している群馬

獲方法の研修を受講する等、捕獲技術の向上に取り組んだ結果、わなを設置した3箇所の造林地において平成27・28年度においてそれぞれ6頭のシカを捕獲しました。

本年度においても、下仁田町有害鳥獣対策協議会の総会で実施計画を説明し、町や猟友会等関係機関と調整を行った上で、2月中旬



基本操作の説明

からセンサーカメラを設置し、事前給餌によりシカの出没や誘引の状況を把握しました。その情報を基に、猟期が終了した3月1日からくくりわな

による誘引捕獲を開始しました。設置から20日間で10頭のシカが捕獲されており、捕獲期間の中旬には林業試験場の研究員を交えた現地検討会を実施しました。

林業事業体によるシカの捕獲は、持続可能な林業生産と、健全な森林を次世代に引き継ぐ取り組みのひとつです。事務所では今後も関係機関と協力して、捕獲を含めた森林被害対策に取り組んでいきます。

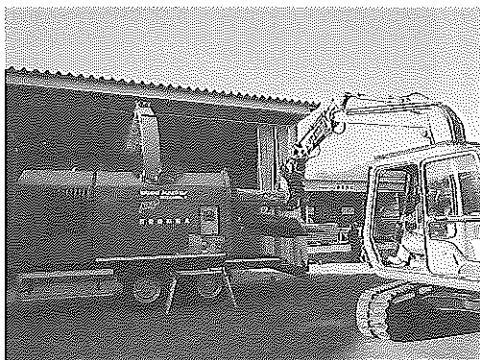
（富岡森林事務所通信員）

## 木質バイオマス供給施設を整備

このほど吾妻森林組合では、東吾妻町大字岡崎の岡崎木材加工センター内に木質バイオマス供給施設を整備しました。

近年、再生可能エネルギーを活用したバイオマス発電所が各地でつくられています。発電の熱源となる燃料として、多くが木質チップを使用しています。

施設は、森林組合が事業主体となり、平成29年度森林・林業基盤づくり交付金事業を活用して整備したものです。主な設備として、木質チップを製造する移動式チップパー1台、製造したチップをストックするチップサイロ庫1棟、同チップをトラックに積み込むためのフォークリフト1台、チップの出荷時に計



チップパー稼働状況

量するためトラックスケール1基等を整備しました。吾妻地域は、林野率が80%と県内でも森林の多い地域です。森林

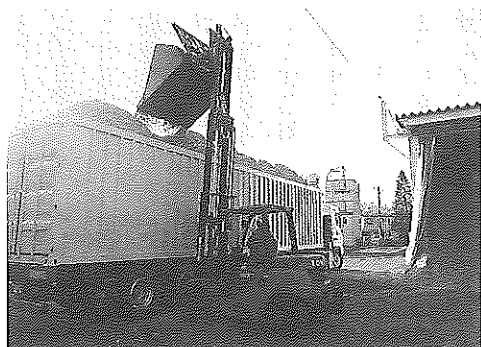
# 各地

組合では、県が森林・林業基本計画で目標としている素材生産量40万m<sup>3</sup>の達成に向けて取り組んでいるところだ。

素材生産量を増やすには採算面で今まで利用されていなかったC・D材をいかに無駄なく活用するかがポイントとなります。

吾妻森林組合では、間伐をし森林所有者に少しでも多く利益を還元することを目指して、森林整備から木材生産・加工まで効率的に行うべく事業に取り組んでいます。

(吾妻環境森林事務所通信員)



チップの積み込み状況



製造されたチップ

## 「21世紀の森」で雪まつりを開催しました

3月4日、沼田市と川場村にまたがる県立森林公園「21世紀の森」を会場に、第十六回「21世紀の森」雪まつりが同実行委員会の主催により開催されました。

当日はよく晴れて、上着を脱いでも大丈夫なほど暖かい一日になり、四百名の参加者でにぎわいました。たくさん家族連れが、そり遊びや宝探し、わくわくストラックアウトなどのゲーム等を思い切り楽しみました。



夢中で宝探し



そり遊び

「雪だるまコンテスト」では、四十四組が参加し、天狗みこし、ひなまつり、オリンピック、ア

ニメのキャラクターなど地域や時節をテーマに取り入れた色鮮やかで個性的な作品などが作られ、出来映えを競いました。

優秀作品には地元自慢の特産品の雪ほたかやリングジュースなどの詰め合わせが賞品として贈られました。

標高千メー

トルに位置する県立森林公園「21世紀の森」は、アクセス道の除雪が完了し、3月から開園となりました。これからは、雪解けが進むと共にカラマツやミズナラなどの芽吹きや新緑などが日々刻々と変化し、周囲の山々の景観とともに、来場者の目を楽しませてくれます。

最優秀作品

皆様のお越しをお待ちしております。



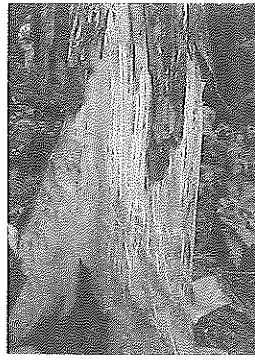
(利根沼田環境森林事務所通信員)



雪だるま作成中

## クマ剥皮被害材の 利活用に向けた取組

ツキノワグマの人工林剥皮被害は、県内全域の山間地で発生しており、当事務所管内でも、スギ、ヒノキなどの人工林において毎年多く発生しています。剥皮被害を受けた立木は、被害の程度により枯死するものも多く、枯死しないものでも、時間の経過とともに腐朽や材の変色が進み、市場では一般材と同様に流通させることは難しい状況です。



剥皮被害を少なくする対策が不可欠であることは言うまでもありませんが、防除対策にも限界があり、すでに被害を受けた立木が多いことも確かであることから、その有効活用は必須と言えます。

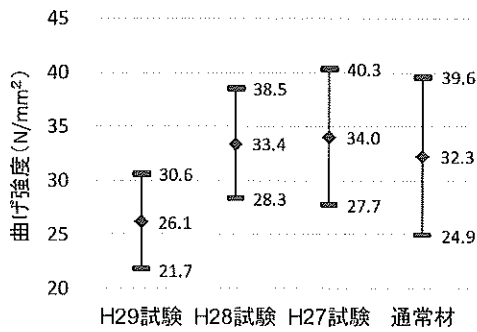
こうしたことから、県林業試験場との共同研究により強度等性能試験を実施し、その特性を活かしたクマ剥皮被害材の利活用方法を検討してきました。

平成二十七年度は、剥皮や腐朽・変色が及んでいない部分の材が、住宅等の構造用材としての強度が確保できるか否かについて調べ、平成二十八年度は、剥皮被害箇所を含ん

だ材の試験を実施し、剥皮被害が強度性能に及ぼす影響について調べました。

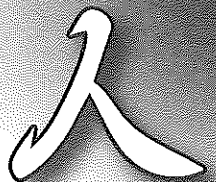
これらの試験結果から、剥皮に伴う枯死等が進んでなければ、剥皮被害による強度低下はほぼ発生していないことが確認できました。

平成二十九年度は、大径材の実際の利用方法を想定し、1本の丸太から2本の構造用材を製材した場合の影響について調べる予定でしたが、試験に使用した材の経年劣化による強度低下が見られ、当初の目的を検討することはできませんでした。このことにより、被害経過年数が長いほど、自然枯死等による強度劣化が推測され、被害後十年以内程度の早期の活用が有効であることが分かりました。また平成二十七年年度の試験では見られた表面割れの抑制効果など、今後は、剥皮被害によるプラスの特性を見出すことにより、クマ剥皮被害材の付加価値についても検討していきたいと思えます。



(桐生森林事務所通信員)

## 地域を担う



小田原緑化開発株式会社

阿部 裕也

一 趣味

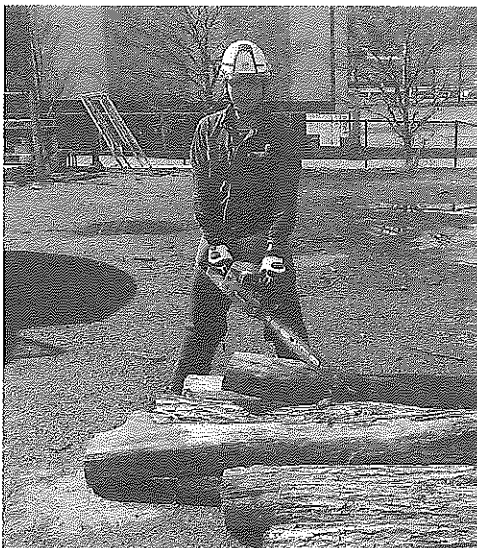
剣道 読書 映画鑑賞

二 今後の抱負

私は今年の8月でこの職に就いて6年目になります。6年間は過ぎてみるとアツという間でした。

林業は奥が深く私もまだまだ未熟者で技術を磨く必要があります。また私が身に付けた技術は、私の後に入社した人に伝えていきたいと思っています。

現場に入れば大変危険な作業が多いので「事故を起こさない、怪我をしない」を目標に安全第一で仕事をしたいと思えます。





# スーパークラッシュ

## ぐんま林業学校 (林業基礎研修)

本研修は、県内で林業への就業を希望する方が、森林・林業に関する基礎知識、機械・器具等の基本操作、林業現場での実務体験などを通じ、事前に林業や林業労働に触れることで就業に対する意識を明確にし、意欲を高めてから就業できるよう開催しております。

今年度は二月十九日から三月五日まで十一日間に渡り行い、基礎研修では林業の基礎知識、チェーンソー及び刈払機の安全衛生教育等を学びました。実地研修では、県内の森林組合でチェーンソーを使った伐倒や造材作業、竹林での伐採作業などを体験しました。この研修は現場の生の体験ができる貴重な場であり、研修生も作業員の方と一緒に汗を流しました。

最終日には、就業相談や既就業者との意見交換会を行い、現場での体験談や就業の動機など、貴重な話を聞くことができました。

今回七名の方が無事に研修を修了し、今後県内の事業体への就業に繋がればと



思います。

(林業振興課)

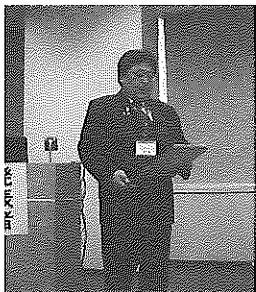
## 平成二十九年年度群馬県農林水産業関係機関研究成果発表会

平成三十年二月七日(水)に、県庁にて標記発表会を開催し、農業・畜産・水産業・畜産業・林業の五つの分科会に分かれ、発表やパネル展示を行いました。

林業分科会では、全十五課題(林業普及指導員四課題、林業試験場研究員十一課題)の発表があり、二百名の参加がありました。

獣害対策や苗木生産、木材加工、きのこ栽培等の最新の研究成果と、普及指導員の地域の課題に応じた活動成果等が発表されました。一般の方からも質問が出るなど、発表者・参加者共に実りある発表会になったと思います。

また、来年度の「林業普及指導員関東・山梨ブロックシンポジウム」の代表として、當間博之氏(吾妻環境森林事務所)の「様々な手法を用いた森林経営計画作成指導」が選ばれました。来年度も開催予定ですので、多くの方のご来場をお待ちしています。



発表する當間主幹

(林業振興課)

桐生広域森林組合

鈴木 幸宏

一 趣味

スノーボード

二 今後の抱負

JLCに出場するので、競技で身に付けた技術で安全に作業していきたいと思っています。

また、FW研修生の後輩には、自分が研修で学んだ事を活かし、サポートや指導をしていきたいと思っています。





# トピックス

## 平成29年度 林業功労者表彰式の開催

群馬林政推進協議会（八木原勇治会長）による林業功労者表彰式が1月31日群馬県庁正庁の間で開催され、25名の方々が受賞されました。大変おめでとうございます。

氏名	年齢	住所	部門
篠原 三男	78	前橋市	素材生産
工藤 武之	60	前橋市	森林・緑 整備基金
小澤 雅秀	60	前橋市	
高橋 栄司	58	高崎市	
神宮 哲哉	59	安中市	
篠沢 正昭	58	高崎市	
池原 純	66	東吾妻町	
大川 弘志	59	桐生市	森林土木
高橋 範行	51	渋川市	森林土木
富田 修栄	68	富岡市	特用林産
林 作夫	62	みなかみ町	特用林産
青木 恒雄	66	東吾妻町	特用林産
今井 隆	63	高崎市	特用林産
佐藤 学	62	上野村	森林組合
横坂 法雄	69	川場村	森林組合
入澤正次郎	58	片品村	森林組合
鈴木 克志	58	前橋市	森林組合
神戸ひとみ	59	下仁田町	森林組合
土屋 守男	59	中之条町	森林組合
藤倉 桂子	57	桐生市	森林組合
土屋 博	80	安中市	林業経営
金子 敬	67	桐生市	木材産業
清水 政廣	64	高崎市	木材産業
星野 敏昭	72	榛東村	種苗生産
池田 正人	56	渋川市	種苗生産



平成29年度林業功労者表彰式 平成30年1月31日 群馬県庁正庁の間

# 天敵を利用したきのこ害虫防除について

本県の生シイタケは、全国有数の生産量を誇り、現在ではその九割近くが菌床栽培方式で生産されています。その一方、害虫類（表1）による被害の増加が問題になっています。現状の害虫対策は光誘引捕虫器や粘着シートによる成虫の捕獲、菌床上の幼虫の捕殺といった方法が主体となっています。

この安全性を確保するため、こうした物理的防除が生産現場で励行されています。しかし、防除効果が小さく、人力が主体で大きな負担になっています。このため、安全性と効率性を兼ね備えた、効果的

表1 県内の菌床シイタケ害虫

種類	分類	幼虫棲息状況	被害メカニズム
リュウコツナガマドキノコバエ クロバネキノコバエ類 ショウジョウバエ類 ガガンボ類	ハエ類	湿潤な菌床表面 菌床内部に潜入	①成虫飛来 ②産卵・孵化 ③幼虫食害 (子実体・菌床) ④異物混入
ムラサキアツバ コクガ	ガ類	菌床表面 菌床内部に潜入	⑤増殖 ※複数種による 同時多発被害
セモンホソオオキノコムシ	甲虫類	菌床内部に潜入	

な防除方法の開発が期待されています。そこで、近年農業で注目されている、天敵を利用した生物的防除に着目し、菌床シイタケ栽培での利用技術開発に取り組みました。本研究では、天敵製剤の開発期間・コストの削減と、早期の実用化を目指し、菌床シイタケ害虫に対する市販の天敵製剤の適用拡大利用を検討しました。

はじめに、シャーレ内で菌床シイタケ害虫類の幼虫と市販の天敵製剤を組合せて、施用効果試験を行いました。その結果、数種類の天敵微生物製剤が有用であることがわかりました。さらに、これらの天敵微生物は複数種の害虫に効果があり、汎用性があることもわかりました。

次いで、栽培ハウス内のシイタケ菌床上で同様の効果が得られるか確認しました。天敵微生物製剤A、Bを選定し、用法にしたがい水道水で希釈した懸濁液（Aは濃度により二区分）、対照区として水道水をそれぞれ三個の菌床表面に散布し、直後にムラサキアツバ中々終齢幼虫を各菌床に五頭ずつ放ち、三日後に各十五頭の生死を判別しました。

その結果（図1）、製剤Aで七十パーセント、製剤Bの十分の一濃度で八十パーセント、製剤Bで四十パーセントが死亡しました。さらに、行方不明の個体に対して忌避効果があったとみなすと、製剤A、Bでは百パーセント

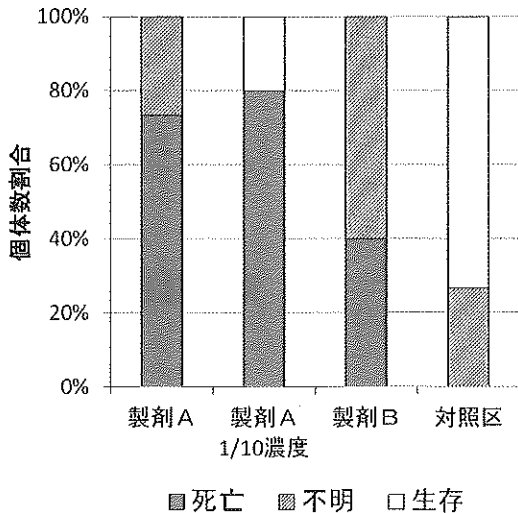


図1 菌床表面への散布試験結果

の散布効果がありました。以上のように、天敵微生物製剤はシイタケ害虫防除に有用で汎用性があるとともに、予防散布でさらに施用効果が高まる可能性があります。

現在も、(国研) 森林総合研究所をはじめとする共同研究機関と連携して、実用化に向けて研究を進めています。

なお、本研究は農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業により実施しました。

(林業試験場 きのこ係)



# 坂本建設株式会社

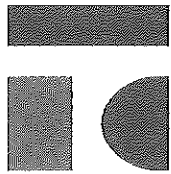


代表取締役 新井茂男

本社 群馬県桐生市広沢町4丁目2035-1  
〒376-0013 TEL (0277) 54-1421  
FAX (0277) 52-9502  
E-mail: arai\_s@sakamoto-kk.jp

平成三十年四月一日 発行

総合建設業



TSUKAMOTO

## 株式会社塚本工務店

〒375-0024 群馬県藤岡市藤岡 1848-1  
TEL:0274-23-1212  
E-mail:eigyoubu@tsukamotokoumuten.jp  
<http://www.tsukamotokoumuten.jp>



### 緑の募金で 緑豊かな ふるさと ぐんま

公益社団法人 群馬県緑化推進委員会  
前橋市大渡町1-10-7 群馬県公社総合ビル内  
☎ 027(280)6257  
URL: <http://www.g-sinrin.jp/>

### ふるさとの木で家を建てよう

県産材を使って

住宅を建築すると最大65万円

内装を施工すると最大15万円

県が補助します



一般社団法人 群馬県木材組合連合会  
〒379-2131 前橋市西善町524-1  
電話:027-266-8220  
<http://www.gunma-wood.com/>

発行責任者 行 群馬県林業改良普及協会  
印刷者 大 杉浦印刷株式会社  
印刷手 治

ひとりごと 2月の平昌オリンピックでは日本人選手の活躍に沸きました。また、例年になく寒さの厳しい冬でした。いよいよ新年度に入り過ぎやすい気候になりましたが、まるまる平成の年度としては最後となります。有終の美を飾りたいものです。

(K.A)